

募集代理店

 中央三井信託銀行

引受保険会社

 アクサ生命保険株式会社



2007年度
特別勘定の現況
(世界分散型40CM(512)/世界分散型20CM(513))
決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用
状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>
お問い合わせ先 **0120-375-193**

* 受付時間: 平日9:00~17:00(土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。)

 中央三井アセットマネジメント
Chuo Mitsui Asset Management Company, Limited

【利用する投資信託の委託会社】 中央三井アセットマネジメント株式会社

中央三井アセットマネジメント株式会社は、1999年7月に三信投資顧問株式会社と中信投資顧問株式会社が合併して誕生した投資信託委託会社です。現在、投資信託委託業務を中心に個人および法人のお客様に多様な商品サービスを提供しており、変額個人年金保険向け投資信託については特に力を入れています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社が作成した運用環境を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2007年7月～2008年3月]

【日本株式市場】

サブプライム問題の拡大による大手金融機関の巨額損失計上に伴い信用不安が高まったことや、米国の企業景況感悪化や雇用情勢悪化によって米国景気後退懸念が強まったことで、世界的な株式市場の下落となり、これらを背景に日本株式市場も大幅な下落となりました。加えて、国内での住宅投資減少や、原材料価格の高騰、1米ドル100円割れの水準まで円高米ドル安が進行したことを受けて、国内景気減速や国内企業の業績下方修正の懸念が広がったことで下落幅が拡大しました。

【外国株式市場】

サブプライム問題に端を発した信用収縮懸念により、世界の株式市場は大きく下落に転じました。各国中央銀行の迅速な政策対応により一時落ち着きを取り戻しましたが、年明け後は米国の雇用情勢悪化を背景にした景気後退懸念や大手金融機関の損失拡大懸念が再燃し急落しました。金融緩和政策の効果や大手金融機関の資本増強策に対する期待と、金融保証会社（モロライン）の格下げや米系証券会社の資金繰り悪化など金融システムに対する不安とが交錯し、値動きの荒い展開となりました。

【日本債券市場】

日本の長期金利は、金融機関のサブプライム関連の損失拡大を背景とした内外株式の下落や信用不安を受け、投資家のリスク回避による質への逃避から国債への資金流入が加速し、金利は低下基調で推移しました。その後も、米国景気後退懸念や信用不安により金融市場が混乱する中、原油・原材料高や円高急伸による国内景気減速懸念から国債買いが続き、3月末は1.2%台となりました。

【外国債券市場】

米国の長期金利は、7月初旬に5.2%付近まで上昇しましたが、その後はサブプライム問題に端を発した信用収縮懸念が拡大し、投資家のリスク回避による質への逃避から国債への資金流入が加速し、金利は低下基調で推移しました。年明け以降も景気後退懸念や金融機関の損失拡大懸念から金利低下は続き、3月末は3.4%台となりました。他の主要国もほぼ同様の動きとなり、世界的に金利は低下しました。

【外国為替市場】

米ドル円為替は、7月に123円台となりましたが、その後はサブプライム問題に端を発した信用収縮懸念の拡大から、投資家のリスク回避による円キャリー取引の巻き戻しが顕著になり、円高基調で推移しました。年明け以降も米国の景気後退懸念や信用不安の拡大から米ドルは主要通貨に対し全面安の展開となり、3月には12年7ヶ月ぶりの95円台まで円高米ドル安となりました。円は、他の主要通貨に対しても円キャリー取引の巻き戻しから円高となりました。（取引値ベース）

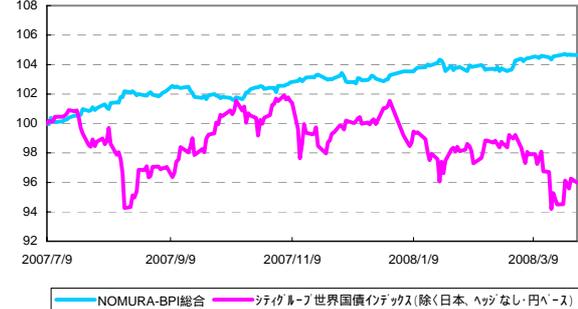
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年7月9日を100として指数化しています。

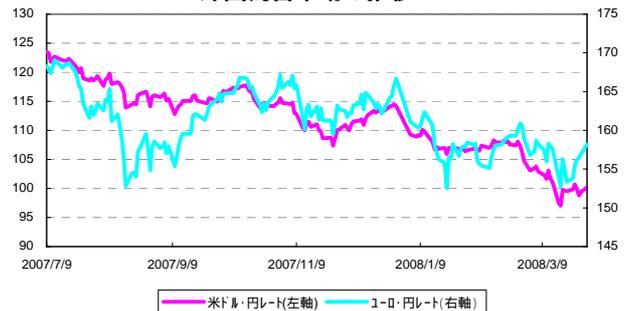


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年7月9日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：三菱東京UFJ銀行公表TTM

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

【取扱者（生命保険募集人）】

中央三井信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型40CM(512)」の運用方針および運用状況 [2008年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型40CM(512)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
中央三井VAポートフォリオ40 (適格機関投資家専用)	<p>当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>中央三井日本株式マザーファンド20%、中央三井日本債券マザーファンド30%、中央三井外国株式マザーファンド20%、中央三井外国債券マザーファンド30%*</p> <p>*当ファンドは、外貨建債券資産および中央三井外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の50%部分の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。</p> <p>当ファンドの主なリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク</p>

・「ファミリーファンド方式」とは、投資家から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用はマザーファンドで行う仕組みのことをいいます。

特別勘定の運用コメント（2007年8月8日 - 2008年3月末日）

2007年度のユニット騰落率は8.89%となりました。特別勘定で使用している投資信託の株式資産については、世界的な景気後退懸念と米国サブプライムローン問題に端を発した信用不安拡大を背景に投資家はリスク回避の動きとなり、大きく下落しました。日本・外国株式への資産配分比率が合わせて40%を占めることから、株式市場の推移がユニットプライスに影響を与えました。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2008年3月末	91.10	過去1ヶ月	3.20
2007年12月末	99.34	過去3ヶ月	8.30
2007年9月末	101.27	過去6ヶ月	10.05
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	8.89

- ・特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年8月8日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40CM(512)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	7,673,384	98.8
現預金・コールローン	83,271	1.1
その他	9,475	0.1
合計	7,766,131	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	70
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	563,811
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	563,741

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL:0120 375 193
アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

【取扱者(生命保険募集人)】
中央三井信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型20CM(513)」の運用方針および運用状況 [2008年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型20CM(513)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
中央三井VAポートフォリオ20 (適格機関投資家専用)	<p>当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>中央三井日本株式マザーファンド10%、中央三井日本債券マザーファンド40%、中央三井外国株式マザーファンド10%、中央三井外国債券マザーファンド40%*</p> <p>*当ファンドは、外貨建債券資産および中央三井外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行います。</p> <p>実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。</p> <p>当ファンドの主なリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク</p>

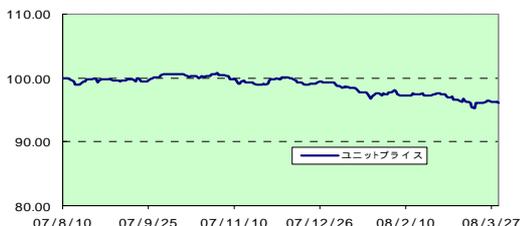
・「ファミリーファンド方式」とは、投資家から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用はマザーファンドで行う仕組みのことをいいます。

特別勘定の運用コメント（2007年8月9日 - 2008年3月末日）

2007年度のユニット騰落率は3.93%となりました。特別勘定で使用している投資信託の債券資産については、世界的な景気後退懸念と信用不安拡大により、質への逃避から債券市場に資金が流入し、債券価格は上昇しました。株式資産については、世界的な景気後退懸念と信用不安拡大を背景に投資家はリスク回避の動きとなり、大きく下落しました。日本・外国株式への資産配分比率は合わせて20%ですが、株式市場の大幅な下落推移がユニットプライスに影響を与えました。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2008年3月末	96.05	過去1ヶ月	1.44
2007年12月末	99.22	過去3ヶ月	3.19
2007年9月末	100.08	過去6ヶ月	4.02
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	3.93

- ・特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年8月9日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20CM(513)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	630,130	97.7
現預金・コールローン	4,630	0.7
その他	10,232	1.6
合計	644,993	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	5
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	14,814
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	31
収支差計	14,840

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL:0120 375 193
アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

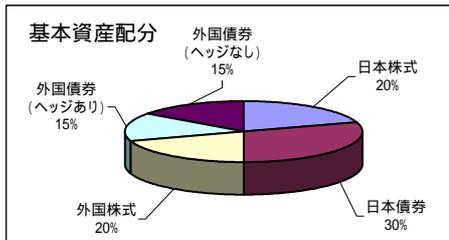
【取扱者(生命保険募集人)】
中央三井信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、中央三井アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考> 中央三井VAポートフォリオ40（適格機関投資家専用）の運用状況 [2008年3月末日現在]

ファンドの特色



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

中央三井日本株式マザーファンド: 「TOPIX(東証株価指数)」 1

1ただし、配当込み指数を使用しています。

中央三井日本債券マザーファンド: 「NOMURA - BPI総合」

中央三井外国株式マザーファンド: 「MSCIコクサイ指数(円ベース)」 2

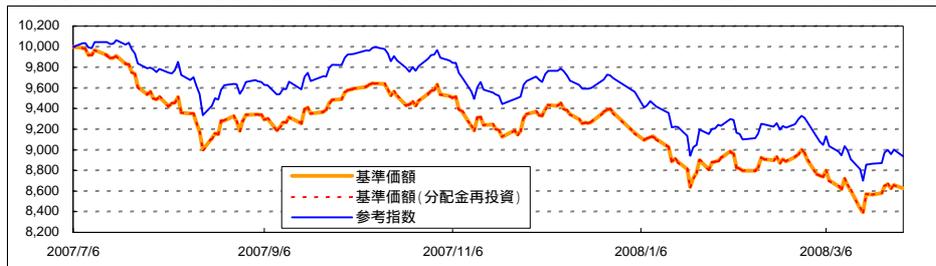
2ただし、配当込み指数を使用しています。

中央三井外国債券マザーファンド: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」 3

3中央三井VAポートフォリオ40(適格機関投資家専用)においては、中央三井外国債券マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について原則として為替ヘッジを行いますので、上記合成指数の算出に際しては「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」も併せて使用します。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、中央三井VAポートフォリオ40(適格機関投資家専用)の設定日(2007年7月9日)の前営業日を10,000として指数化しています。

・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%程度(税抜0.28%程度))控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのものと計算しています。

・参考指数は、TOPIX(東証株価指数)20%、NOMURA - BPI総合30%、MSCIコクサイ指数(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2008年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	8,627円	8,897円	-270円
純資産総額(百万円)	7,673	7,274	+399

	基準価額	日付
設定来高値	9,991円	2007年7月9日
設定来安値	8,396円	2008年3月18日

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
中央三井日本株式マザーファンド	20.0%	19.7%
中央三井日本債券マザーファンド	30.0%	30.0%
中央三井外国株式マザーファンド	20.0%	19.9%
中央三井外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	15.0%	15.2%
中央三井外国債券マザーファンド(ヘッジなし)	15.0%	15.2%
コール・その他	0.0%	-0.0%
合計	100.0%	100.0%

・ファンドの資産構成は、当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。

・ファンドの資産構成は、当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)、計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。

・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-3.03%	-7.83%	-9.04%	-	-	-13.73%
参考指数	-3.53%	-7.81%	-9.03%	-	-	-10.62%
差	+0.50%	-0.02%	-0.00%	-	-	-3.11%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

分配金実績(税引前)

・下記は、1万口当たりの税引前分配金実績です。

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2008年2月21日	-	-	-	-	-	-
分配金	0.00円	-	-	-	-	-	0円

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

【取扱者(生命保険募集人)】

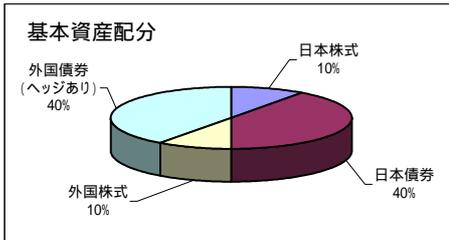
中央三井信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、中央三井アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考> 中央三井VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）の運用状況 [2008年3月末日現在]

ファンドの特色



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

中央三井日本株式マザーファンド：「TOPIX（東証株価指数）」 1

1ただし、配当込み指数を使用しています。

中央三井日本債券マザーファンド：「NOMURA - BP総合」

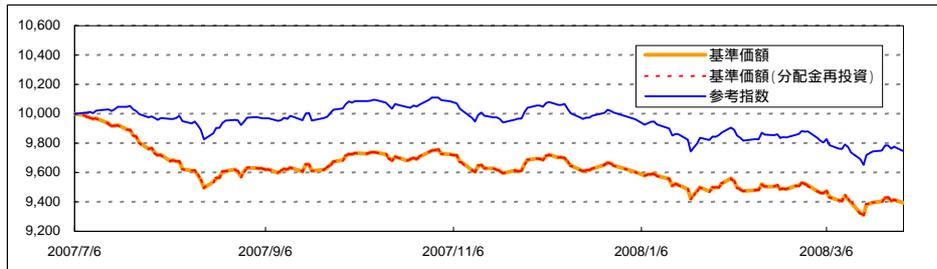
中央三井外国株式マザーファンド：「MSCIコクサイ指数(円ベース)」

中央三井外国債券マザーファンド：「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」 2

2中央三井VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）においては、中央三井外国債券マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いますので、上記合成指数の算出に際しては「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」を使用します。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、中央三井VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）の設定日（2007年7月9日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0.294%程度（税抜0.28%程度））控除後の値です。

・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

・参考指数は、TOPIX（東証株価指数）10%、NOMURA - BP総合40%、MSCIコクサイ指数(円ベース)10%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2008年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,393円	9,513円	-120円
純資産総額(百万円)	630	577	+53

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
中央三井日本株式マザーファンド	10.0%	9.8%
中央三井日本債券マザーファンド	40.0%	40.0%
中央三井外国株式マザーファンド	10.0%	9.9%
中央三井外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	40.0%	40.3%
コール・その他	0.0%	-0.0%
合計	100.0%	100.0%

・ファンドの資産構成は、当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率（純資産総額比）。

・ファンドの資産構成は、当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率（純資産総額比）、計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。

・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.26%	-2.64%	-2.91%	-	-	-6.07%
参考指数	-1.38%	-2.65%	-2.83%	-	-	-2.55%
差	+0.12%	+0.00%	-0.09%	-	-	-3.52%

・ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算してあります。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

分配金実績（税引前）

・下記は、1万円当たりの税引前分配金実績です。

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2008年2月21日	-	-	-	-	-	-
分配金	0.00円	-	-	-	-	-	0円

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 http://www.axa.co.jp/life/

【取扱者(生命保険募集人)】

中央三井信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもとし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

この保険では、「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金の支払期間中には、年金管理費をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、 一時払保険料から控除します。

【積立(運用)期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用等に必要の費用 投資信託の純資産総額に対して 年率0.294%程度 (税抜0.28%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産総額から控除します。

*運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客様にご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

*運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

年金の種類を変更した場合や「年金払特約(06)」により年金としてお受け取りいただく場合です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

*年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(終身型)

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。